

最初に確認（授業の流れ）

- ①課題カード（黄色）を見て、課題を知る。
- ②解決カード（青色）を参考にし、課題の答えを考える。
- ③課題カード（黄色）に振り返りを書く。
- ④振り返りを書いた課題カードのみを提出BOX1に提出する。
（授業開始20分後には、全員のカードを見れるようにします。）
- ⑤適用（赤色）を行う。

10：00～

課題 「円周角の定理」の逆は成り立つだろうか？

振り返り

(今日の学習でわかったことを書こう)

(直接打ち込むか、自分のノートに書いて、写真をとったものをのせる。)

課題の解決方法

①教科書 P174～P175を読む。

(教科書がない人は次のページで見れます)

※ホームページから見ている人は

著作権の関係で教科書のデータは見れません。

適用

- ①教科書P175の間1・2を解く。
- ②次のページの答えを見て、丸つけする。
- ③（余裕があれば）
教科書P176の基本の問題をやっておこう。

適用の答え

教科書 P.175

問1 (解答)

$$\angle DAC = \angle DBC \text{ ならば、}$$

4点 A, B, C, D は 1つの円周上にあるから

$$\underline{\angle X = 35^\circ}$$

適用の答え

教科書 P.175

問題 (証明の例)

ABは円Oの直径であるから

$$\angle ADB = 90^\circ$$

$$\begin{aligned} \text{よって、} \angle EDF &= 180^\circ - \angle ADB \\ &= 90^\circ \quad \dots \text{①} \end{aligned}$$

同様にして、 $\angle ECF = 90^\circ \quad \dots \text{②}$

$$\text{①, ②より、} \angle ECF = \angle EDF$$

点C, Dが直線EFの同じ側にあり、

$\angle ECF = \angle EDF$ であるから、

4点C, D, E, Fは1つの円周上にある。